

先の見えない時代に

Innovation Family™

IF-見通す経営

会計処理とデータ処理の世界を統合

財務会計と管理会計を
複式簿記の世界で完全統合

IF-見通す経営 「住宅建設業テンプレート」

株式会社 東條経営科学研究所

tojolab.com

2012-03版

IF見通す経営とは

「IF-見通す経営」はInnovation Family™会計の諸機能を有機的に結合させ、【企業の経営に役立つシステム】
【企業の組織強化に役立つシステム】として、“見通す経営”を効果的に構築・運用するための機能です。

IF-見通す経営

1.企業の経営に役立つシステム

IF-見通す経営では、企業の経営に役立つシステムとして以下のような特徴を有しています。

- 企業の基幹システムである会計機能を提供しています。財務会計としての年次、四半期決算に加え、管理会計としての月次決算、日次決算にも1ボタンで対応できます。
- “見通し財務諸表”には、受注、発注、予約、予想、予算など将来を見通せる新しい勘定科目が追加統合され、まさにその瞬間の経営全体を見通すことができます。
- リアルタイム処理により、現場と同時進行で販売面、資金面など経営の動きを確認できます。
- 原価分析・収支分析・各種指標などの管理会計分析レポートは、元帳（DWH）に蓄積されているデータより整合性が取れた形で、作成でき、経営の意思決定に提供できます。
- ローリングプランの予算管理や、将来投資分析などにおけるシミュレーションにも活用可能です。
- 他の基幹システムとは自動仕訳で連動します。既存の財務会計システムや、他社パッケージの財務管理システムとも連動可能です。
- “あらゆる取引”データが元帳に蓄積されていますから、以下のような機能は、個別のマスターを作成することなく構築することができます。“将来取引”データも蓄積されていますから、より効果的な管理が可能になります。どこまで管理の対象にするかは指定可能です。
 - 見通し債権管理
 - 見通し債務管理
 - 見通し現金管理
 - 見通し経費管理
 - 見通し顧客管理
 - 見通し取引先管理
- プライベート・クラウド・サービスによるグループ企業への導入も可能です。グループ経営の基盤として子会社や関連会社間のセキュリティ機能も付加可能です。
- 特に、受注/予約型事業（建設、受注生産の製造業、SI事業など）の事業会社様には、既存の受注、発注システムに自動仕訳を連動させるだけでも活用でき、効果を挙げるすることができます

2.企業の組織強化に役立つシステム

- “見通す経営”では、経営者、経営幹部、現場社員の間の共通のコミュニケーション・ツールとして“先が見え、現場が見えるドリルダウン機能付き見通し財務諸表”を提供します。
- “見通し財務諸表”を部門展開して、責任と権限を明確にし、意欲的な組織の実現に役に立てることができます。例えば、部門別に月次決算や日次決算に基いたラウンドテーブル・ミーティングなどを実施、情報を共有し、目標達成に向けて、知恵を出し合うといった行動様式を根付かせていくことができます。
- “見通し財務諸表”は会議形式で対応を考えることができるように、Web画面を表示し、各勘定科目をドリルダウンすることにより詳細データを確認できるようになっています。例えば、日次決算の仕組みを、人手をかけずに構築・運用し、その効果を最大化できるように配慮しております。

会計を中核にした経営のためのシステム

IF-見通す経営は、

- PFDロッカーが出現を期待した“データ処理と会計処理の統合”を実現しています。
- “財務会計と管理会計を複式簿記で完全統合”し、全社で整合性のとれた経営情報を共有できます。
- 「IF-将来会計」の機能により将来起こりうる取引の勘定科目（将来勘定科目）も扱え、将来を見通した情報を提供します。現在特許出願準備中
- Innovation Family™をベースとして構築いたしますので、短期間に安定したシステムの構築が可能です。また、導入からその後にいるまで、専門のコンサルタントによるご支援いたします。

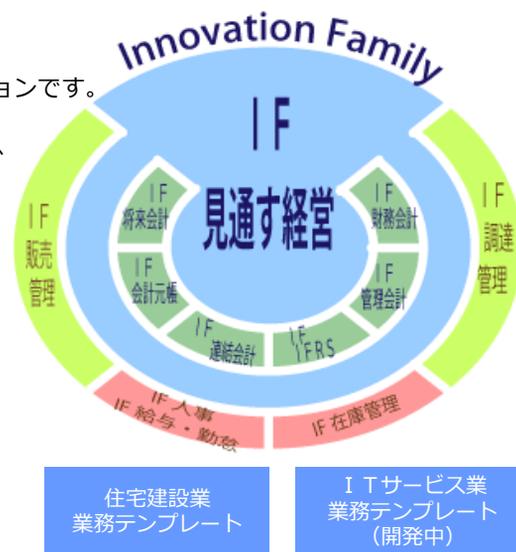
Innovation-Family™とは

「Innovation-Family™」は、弊社の基幹システムのパッケージ・ソリューションです。開発環境は超特急開発環境であるサピエンスを採用しています。そのことで、お客様のご要望にあったカスタマイズが短期間に、自在にでき、その後の保守も非常に効率よく安価にできます。（サピエンス導入実績：開発効率：1/3、保守効率：1/5）

現在、「Innovation-Family™」のモジュールは、以下のものです。

- ①経営関連：「IF-見通す経営」前提機能：会計関連機能
- ②会計関連：「IF-財務会計」、「IF-将来会計」、「IF-管理会計」、「IF-会計元帳」、「IF-IFRS」「IF-連結会計（開発準備中）」
- ③人事関連：「IF-給与」、「IF-勤怠」、「IF-人事」
- ④販売関連：「IF-見通す経営」に合わせて改定中
- ⑤調達関連：同上
- ⑥在庫関連：同上
- ⑦住宅建設業 業務テンプレート
- ⑧ITサービス業 業務テンプレート（開発中）

• Innovation-Family™ はリアルタイム処理を基本とし、WebによるUIを提供します。



IF-見通す経営で、安心の先手必勝経営を!!

「IF-見通す経営」の見通す財務諸表や分析レポートにより、事業の状況と将来を見通し、タイミングを逃すことなく適切な対処ができます。



低コスト・超速で構築できます。

〇〇工務店様の場合

工事管理と会計処理の統合により、

- 数ヶ月先までの資金繰り
- 数ヶ月先までの収益(売上と原価)を見通しながら、安心の先手必勝経営を実現!!



受注!!

見通す経営

工務店様業務

- 契約受注管理
- 発注原価管理

自動仕訳

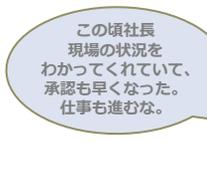
Innovation-Family

会計・経営支援

見通し財務諸表



契約と入金、実行予算、発注、請求書と支払いの突合せがきっちりするんで助かるわ! 決算も楽になりそう。



この頃社長現場の状況をわかってきて、承認も早くなった。仕事も進むな。

資金繰りを含めて数ヶ月先まで見通せるようになって安心だ。事業の将来計画作りやお客様へのサービスに力が入れられるようになった。

展開イメージ

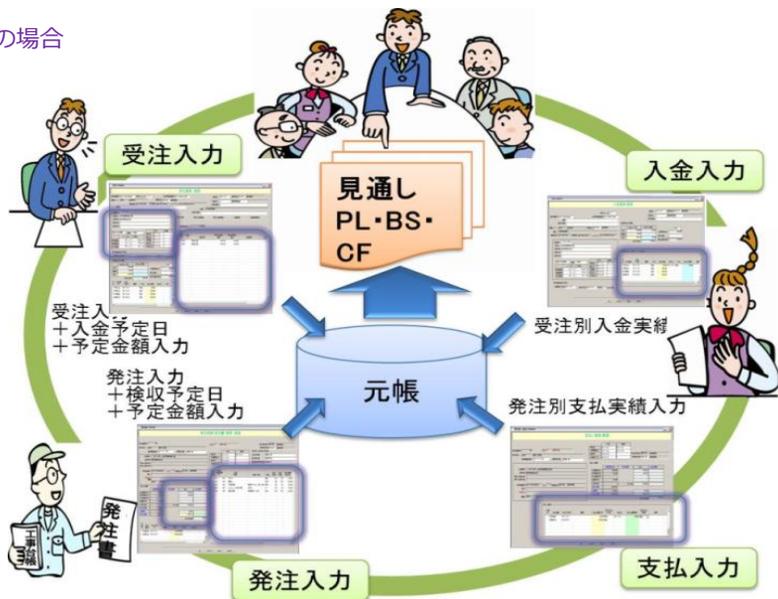
「日次決算」などによる経営強化・組織強化をお考えの場合

現在では、日次決算の実施により、業績を挙げている企業様の事例は多くあります。

日次決算資料は、経営者への情報提供であるとともに、担当者、担当部門に提供され、各々が対応を考え、行動をとることによって、業績の向上、幹部の育成、スピード経営の実現、現場の活性化などの成果を実現しております。

一般には、日次決算資料は会計だけでなく、販売、調達などのシステムからデータを抽出し、EXCELなど人手を使ってデータ加工し作成されています。『見通す経営』ではすでに元帳に全てのデータは入っていますから、1ボタンで指示するだけで、全社的に整合性のとれた日次決算資料(「見通し日次決算」など)を随時出力できます。それによって、本来の日次決算の効果を最大化することができます。

出力は会議形式で対応を考えることができるように、Web画面で「見通しPL」等を表示し、各項目の詳細データはドリルダウンして確認できるようになっています。



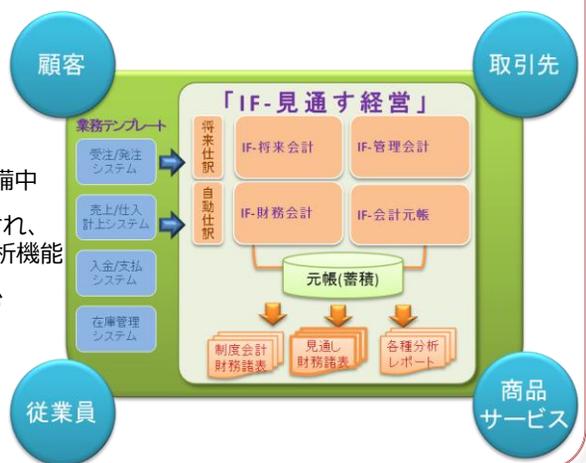
「IF-見通す経営」の構成

「IF-見通す経営」は以下の諸機能を前提として、各種分析機能、ドリルダウン機能、予算策定機能、シミュレーション機能などの経営支援機能を提供します。

<前提機能>

- IF-財務会計：日次から年次処理までの財務会計機能
- IF-将来会計：受注、発注、見積り、予定、予想、予算など将来仕訳が発生する見込みのデータに対する会計機能
(注) 将来会計/将来仕訳/将来勘定：当社独自の概念、特許出願準備中
- IF-管理会計：見通し財務諸表のドリルダウン機能などで呼び出され、会計元帳よりデータを抽出し該当情報を表示。管理会計上の各種分析機能
- IF-会計元帳：顧客や商品・サービスなど仕訳付加取引情報を含む蓄積された会計元帳機能

各種分析レポートは、EXCELインターフェース等で出力できます。



IF-見通す経営「住宅建設業テンプレート」の導入・設定

工種登録

工種の名称を登録します。
また、別途括り種別を登録して分類することも可能です。

工種明細登録

工種ごとに作業明細を登録します。
明細の名称、見積もり単価、原価単価を登録します。

PL BS 集計科目登録

貸借対照表、損益計算書で出力する科目を登録します。
また、「見通す経営」の特徴である4つの会計空間との対応も設定します。

勘定科目登録

勘定科目を登録します。コードや名称のほか、対応するPL、BSの科目、
また、「見通す経営」の特徴である4つの会計空間との対応も設定します。

会計期間設定

会計期間を登録します。

社員登録

営業担当者・発注担当者・検収担当者等に
該当する社員の社員名を
登録します。

発注先登録

工事・資材の発注先の名称、連絡先、先方担当者を登録します。

受注登録

顧客登録～見積登録～受注登録を行います。
受注時点では、着手金も中間金も受け取っていない段階ですが、「IF-見通す経営」では、この入力を行った途端に、将来仕訳が起きるようになっていきます。

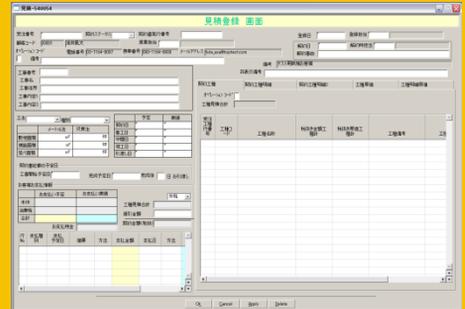
顧客登録

顧客名、住所、電話番号等を登録します。
また、営業・施工中などに使用するコメントを付加できます。



見積登録

引きあいの状況に合わせて見積情報を登録していきます。
工事の登録、お客様の支払予定、また、営業・施工中に使用するコメントが付加できます。



受注登録

見積情報から受注の登録を行います。



◆タブの選択により「受注工種」「受注工種明細」「受注工種原価」「受注工種明細原価」が入力・表示できます。

受注工種

受注工種明細

受注工種原価

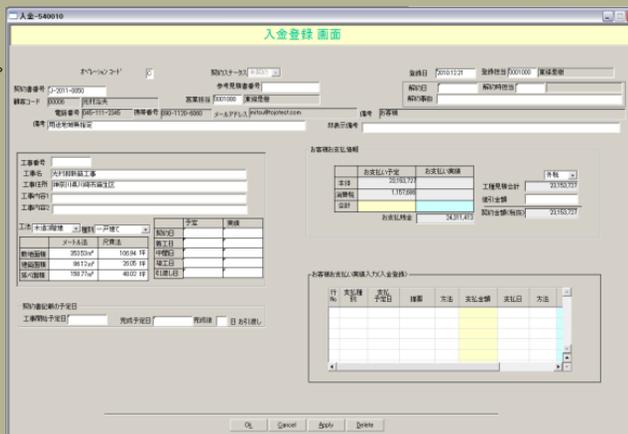
契約工事毎の原価管理

受注工種明細原価

契約工事毎の入金管理

入金登録

入金予定および、入金実績の登録を行います。



発注登録

発注登録を行います。施工工種毎に業者に発注し、工種明細も入力していきます。
発注日、検収日、支払日を予定として、日付を入力すると、「I F -見通す経営」では直ちに将来仕訳を行います。

発注登録

受注工事の工種ごとに発注の登録を行います。

契約工事毎の
原価管理

契約工事毎の
発注管理

発注登録画面

発注日	検収日	支払日
作業開始日		
検収日		
作業完了日		

発注工程毎の
進捗管理

発注工程毎の
原価管理

発注工程毎の
支払管理

発注明細(発注書)登録画面

発注日	検収日	支払日
作業開始日		
検収日		
作業完了日		

発注工程毎の
支払管理

支払登録

支払予定および、支払実績の登録を行います。

発注明細(発注書)登録画面

支払日	支払金額

仕訳伝票入力

自動仕訳が基本ですが、必要により仕訳伝票を手入力することも可能です。従来の会計処理は、財務入力で行います。将来発生が予定されている会計処理は、先日付を指定して予定入力で行います。



総勘定元帳参照

総勘定元帳を参照することができます。各勘定科目別、会計空間別に、取引の発生記録を参照することができます。



月別残高表参照

月別の、勘定科目残高を、会計空間別に参照することができます。月別残高表をもとに、P、L、B、S、C Fが作成されます。



日別取引貸借参照

日別に、取引された勘定科目の借方、貸方合計を参照することができます。会計空間別に集計されています。



「IF-見通す経営」の4つの会計空間

見通す経営の会計処理はいくつかの独立した空間で行われます。各空間は互いに影響を受けないように独立して処理されます。財務会計機能は財務空間で処理されます。将来会計機能は予定空間、予想空間、予算空間を使います。

見通す経営の会計空間

- 財務会計空間：取引発生が記録
- 予定会計空間：将来発生が確実にされる取引の記録
- 予想会計空間：将来発生が予想できる取引の記録
- 予算会計空間：企業が計画している予算としての記録

V1.0では財務会計空間、予定会計空間を実装しています。予定会計空間を使用した将来会計関連の将来勘定科目は受注、受注残、発注、発注残、繰越受注、繰越発注 等です。

V2.0では財務会計空間、予定会計空間に加えて、予想会計空間（販売予想、受注予想など）と予算会計空間が実装されます。

見通し損益計算書

見通し損益計算書は、帳票以外にWeb画面で表示することもできます。Web画面で表示された見通し損益計算書の該当項目をクリックすることにより、その明細を表示できます。この機能をドリルダウンと呼び、経営会議等の場で、全員が議論できるようにしています。

■ 損益計算書-650020

損益計算書 3か月見通し			2012 年							
2012.05.02 現在			2012.04 月		2012.05 月		2012.06 月		2012.07 月	
			当月実績		翌月見通し		翌々月見通し		翌々々月見通し	
見出し	コード	名称	累積金額	当月発生分	累積金額-1	当月発生分	累積金額	当月発生分	累積金額	当月発生分
受注残	3-1	受注残	2,839,415,000	-1,030,000,000	1,809,415,000	-800,200,000	1,009,215,000	-1,009,215,000	0	0
発注残	4-2	発注残	1,125,350,000	-1,125,350,000	0	0	0	0	0	0
受発注差			1,714,065,000	95,350,000	1,809,415,000	-800,200,000	1,009,215,000	-1,009,215,000	0	0
売上高			1,778,000,000	1,030,000,000	2,808,000,000	800,200,000	3,608,200,000	1,009,215,000	4,617,415,000	0
売上原価			1,600,000,000	837,350,000	2,437,350,000	573,100,000	3,010,450,000	813,550,000	3,824,000,000	0
売上総利益			178,000,000	192,650,000	370,650,000	227,100,000	597,750,000	195,665,000	793,415,000	0
一般管理費			69,000,000	0	69,000,000	0	69,000,000	0	69,000,000	0
役員報酬	403	役員報酬	2,800,000	0	2,800,000	0	2,800,000	0	2,800,000	0
役員賞与	404	役員賞与	0	0	0	0	0	0	0	0
従業員給料手当	405	従業員給料手当	36,300,000	0	36,300,000	0	36,300,000	0	36,300,000	0

受注残をドリルダウン

■ 見通し受注残一覧

工事名称	担当者名	受注残金額	4月	5月	6月	7月	受注日	竣工予定日
吉田邸新築工事	甲斐城子佳	1,030,000,000	<input type="checkbox"/>				2011.12.01	2012.05.23
浅田邸新築工事	岡田 学	800,200,000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			2012.01.06	2012.06.20
黒田邸新築工事	朴 浩伸	1,009,215,000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		2012.02.10	2012.07.20

売上総利益をドリルダウン

■ 見通し総利益(粗利)一覧-810020

工事	完成工事高	完成工事原価	粗利	粗利率	4月	5月	6月	7月	売上計上日	受注日
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
1 社内用特殊工事番号	1,778,000,000	1,600,000,000	178,000,000	10%	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.04.20	
100 吉田邸新築工事	1,030,000,000	837,350,000	192,650,000	19%	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.05.21	2011.12.01
200 浅田邸新築工事	800,200,000	573,100,000	227,100,000	28%	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.06.20	2012.01.06
300 黒田邸新築工事	1,009,215,000	813,550,000	195,665,000	19%	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.07.20	2012.02.10



「見通す経営」では将来がわかります。

従来からの損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書をいつでも要求があれば出力できることはもちろんですが、加えて、受注や発注という従来の帳票にはなかった勘定科目を含め、将来のデータを含めた“見通し財務諸表”が出力できます。上記例では、実績月、翌月、翌々月、翌々々月の見通しが表示されています。しかも、将来の受注残の推移をみることもできます。もし、これが減ってくると会社としては、将来の売上が見込めなくなりますから、対策が必要になります。また、貸借対照表から、現預金がマイナスになれば、資金ショートになります。そうなれば、売掛金、買掛金、受取手形等を見ながら対策を打つ必要があります。早めにこれらがわかりますので、対策の幅が広がります。逆に積極的に、全社のみならず部門やセグメントの見通し諸表を活用し、部門やセグメント毎の受注目標を明確にすることで、苦境を乗り越え、事業の発展のために、皆が考え行動する組織へと脱皮させることもできます。組織力強化による事業の推進は、より大きな効果を生み出すと思います。それは、変化が激しく先を見ることの困難な時代に、企業にとって柔軟で、力強い競争力の源泉となると確信しています。

“見通し財務諸表”では、まさにその瞬間の経営全体を見通すことができます。リアルタイム処理により、現場と同時進行で販売面、資金面など経営の動きを確認できます。

見通し貸借対照表

見通し貸借対照表は、帳票のみならず、Web画面で表示することもできます。Web画面で表示された見通し貸借対照表の該当項目をクリックすることにより、その明細を表示することができます。この機能をドリルダウンとよび、経営会議等の場で議論できるようにしています。見通し貸借対照表は、将来の現預金や、売掛金の回収予定、買掛金の支払い予定等、経営上極めて有用な情報を提供できます。

貸借対照表-710020

貸借対照表 3カ月見通し			2012 年							
2012.05.02 現在			2012.04 月		2012.05 月		2012.06 月		2012.07 月	
			当月実績	翌月見通し	当月実績	翌々月見通し	当月実績	翌々月見通し	当月実績	翌々月見通し
見出し	コード	名称	累計金額	当月発生分	累計金額	当月発生分	累計金額	当月発生分	累計金額	当月発生分
受注残	0-1	受注残	2,981,385,750	-1,081,500,000	1,899,885,750	-840,210,000	1,059,675,750	-1,059,675,750	0	0
売注残	1-1	売注残	1,181,617,500	-1,181,617,500	0	0	0	0	0	0
受売注残差			4,163,003,250	-2,263,117,500	1,899,885,750	-840,210,000	1,059,675,750	-1,059,675,750	0	0
資産の部			9,051,582,500	1,071,402,500	10,122,985,000	-994,507,500	9,128,477,500	-713,091,750	8,415,385,750	
流動資産			3,286,582,500	1,071,402,500	4,357,985,000	-994,507,500	3,363,477,500	-713,091,750	2,650,385,750	
	001	現金預金	341,620,000	1,423,635,000	1,765,255,000	-1,261,617,500	503,637,500	962,492,500	1,466,130,000	
	002	受取手形	0	0	0	0	0	0	0	
	003	完成工事未収入金	1,778,000,000	-696,500,000	1,081,500,000	840,210,000	1,921,710,000	-862,034,250	1,059,675,750	
	004	有価証券	0	0	0	0	0	0	0	
	005	未成工事支出金	1,098,650,000	288,000,000	1,386,650,000	-573,100,000	813,550,000	-813,550,000	0	
	006	材料在庫品	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
	007	短期貸付金	17,000,000	0	17,000,000	0	17,000,000	0	17,000,000	
	008	前払費用	0	0	0	0	0	0	0	
	009	繰越税金資産	0	0	0	0	0	0	0	

完成工事未収入金をドリルダウン

完成工事未収入金(売掛金)の回収予定

工事	営業担当	未収入金額	回収予定				入金予定日	竣工予定日	発注日
			4月	5月	6月	7月			
1 社内用特殊工事番号	0001000	東條晃樹	0				2012.05.18		
100 吉田邸新築工事	0003000	甲斐城千佳	1,081,500,000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		2012.07.20	2012.05.23	2011.12.01
200 浅田邸新築工事	1001000	岡田 学	840,210,000		<input type="checkbox"/>		2012.07.20	2012.06.20	2012.01.06
300 黒田邸新築工事	1002000	朴 浩伸	1,059,675,750			<input type="checkbox"/>	2012.08.01	2012.07.20	2012.02.10

工事未収入金をドリルダウン

工事未払金(買掛金)の支払予定

工事	支払先	工種	支払予定金額	支払予定			支払予定日	検取予定日	発注日
				4月	5月	6月			
100 吉田邸新築工事	10001	藤木工務店	689,850,000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.07.02	2012.04.20	2012.01.10
100 吉田邸新築工事	10002	阪木工務店	189,367,500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2012.07.02	2012.04.20	2012.01.10
200 浅田邸新築工事	10001	藤木工務店	274,365,000	<input type="checkbox"/>			2012.05.31	2012.04.20	2012.01.20
200 浅田邸新築工事	10003	大田工務店	327,390,000		<input type="checkbox"/>		2012.06.07	2012.05.21	2012.02.10
300 黒田邸新築工事	10001	藤木工務店	225,120,000			<input type="checkbox"/>	2012.06.20	2012.05.21	2012.02.27
300 黒田邸新築工事	10003	大田工務店	629,107,500			<input type="checkbox"/>	2012.06.20	2012.05.21	2012.02.24

閉じる

IF-見通す経営の機能



財務諸表

見通し決算 (財務決算、将来決算を含む) :
年次、4半期、月次、日次
 決算処理、見通し決算帳票 (受注、発注など含む)
 日次決算 : 見通す P L 上、部門別受注、売上、原価、利益、現預金、収支、独自指標などに注目

参考 : 日経トップリーダーズ 2011. 9
 特集 : 業績がぐんと伸びる「日次決算」の極意

* 元帳よりの抽出・出力帳票に関しましては、お客様のご要望に合わせて追加作成させていただきます。
 ACCESSやEXCELに抽出して、各種レポートをユーザーにて作成することも可能です。

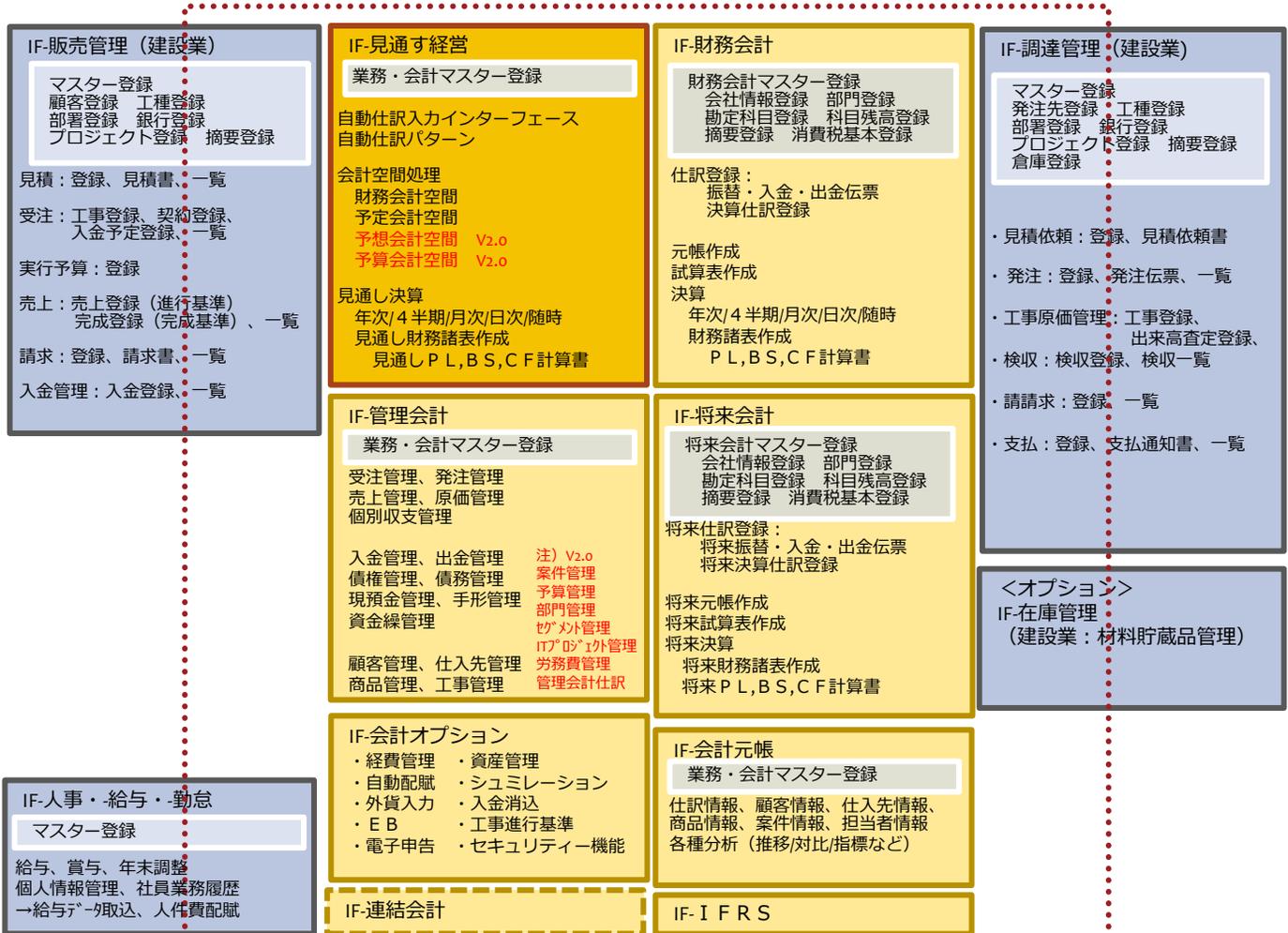
管理会計機能

- 受注管理** : 見通し P L の受注残のドリルダウンで受注残一覧 & 明細の把握
 - * 発注管理** : 見通し P L の発注残のドリルダウンで発注残一覧 & 明細の把握
 - * 売上管理** : 見通し P L の売上のドリルダウンで売上一覧 & 明細の把握
 - * 個別収支管理** : 見通し P L の売上総利益をドリルダウンし、収支明細を把握
 - * 原価管理** : 見通し P L の総利益のドリルダウン後、原価をドリルダウンで明細の把握
 - * 入金管理** : 入金予定も含めて元帳明細照会で把握
 - * 出金管理** : 入金予定も含めて元帳明細照会で把握
 - * 債権管理 (売掛)** : 見通し B S の売掛金のドリルダウンで売掛一覧 & 明細の把握
 - * 債務管理 (買掛)** : 見通し B S の買掛金のドリルダウンで買掛一覧 & 明細の把握
 - * 手形管理 (受取・支払)** : 見通し B S の受取・支払手形のドリルダウンで手形一覧 & 明細の把握
 - * 現預金管理** : 見通し B S の現預金のドリルダウンで把握
 - * 資金繰管理** : 見通し B S の現預金、売掛金、買掛金、受取手形の該当勘定科目のドリルダウンで一覧・明細の把握、さらに短期借入金の把握
 - * 顧客管理** : 顧客コードを指定して元帳から顧客取引/履歴などの情報を出す。
 - * 仕入先管理** : 仕入先コードを指定して元帳から仕入先取引/履歴などの情報を出す。
 - * 商品管理** : 商品コードを指定して元帳から商品別売上/原価などの情報を出す。
 - * 工事管理** : 商品コードを指定して元帳から工事別売上/原価などの情報を出す。
- ※ 各種分析、推移表、対比表、経営指標など管理会計上必要な情報は、原則元帳から出力可能です。
 分析の範囲は、付加情報や将来仕訳入力の範囲 (見通し情報の範囲) についての導入時の範囲決定によります。

V1.0では、*は見通しも含めて管理できます。
 V2.0では、販売予想入力により案件管理、プロセス管理が可能となり、受注管理も見通しも含めて管理できます。また、予算管理、部門管理、セグメント管理、ITプロジェクト管理、労務費管理、管理会計仕訳が可能となります。

IF-見通す経営の機能構成 (住宅建設業の場合)

“IF-見通す経営” V1.0



“見通す経営”の組織展開は、企業の意欲的な組織風土の醸成に貢献します。

◆先手必勝の経営 (Foresight経営)

見通す経営はリアルタイムでその瞬間、瞬間の経営状況を提供します。
PL,BS,CFといった一般的な帳票形式で、該当項目をDrilldownするだけで、ほとんどの経営状況把握することができます。
経営者は、執務室で、いつでも瞬時に将来を見通した現状のデータを把握でき、必要な指示をすることができます。
資金繰りを含め余裕をもった経営判断をくだすことができます。

◆円卓経営 (Round Table経営)

毎週や毎月のRound Table経営(円卓経営)で、見通す経営の画面をみながら、Actionを決定します。
Round Table 経営の場で経営者と部門の責任者などの信頼関係を築き、経営の知恵と、現場の知恵を結集できます。
・受注に注目した営業Meetingで黒字になった事例をきいております。

◆ドリルダウン経営 (Drill Down経営)

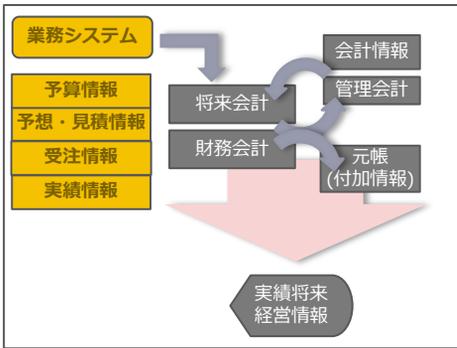
Round Table 経営でつかわれる議論はドリルダウンで表示していきます。
常に全体を把握しながら、細部の議論にはいりますから、参加者間の理解が一致し、議論から、結論、その後のActionをスムーズに遂行できます。

◆日次決算 (Ongoing経営)

各部門には、部門ごとの日次決算情報(見通すPLより受注、売上、発注、原価、現預金など)を提供します。
適切な目標設定することで、各部門長は、部門の知恵とやる気結集することができます。これらを通してやる気のある人材を育成することもできます。
・日次決算の実施で業績を伸ばしておられる例を多く聞いております。

一定のセキュリティコントロール下で、情報が共有されることで、本社と部門のコミュニケーションがスムーズになり、部門間でも、資材などの購入、融通などの、互いに現場の時間と知恵をいかにすることもできるようになると考えております。
先の見えない能取りの難しい時代を、乗り切る学習する組織風土、俊敏な組織風土が醸成されると考えております。

導入ケース



見通す経営を中心にシステムを再構築

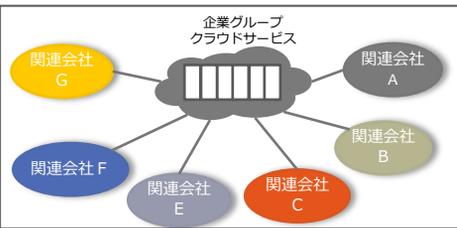
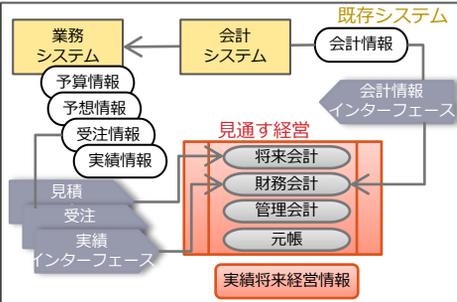
サビエンスをベースとした基幹システムの再構築の中核として、「IF-見通す経営」の導入することができます。
＜メリット＞
・「IF-見通す経営」と本業務テンプレートを併用し、これらをベースにカスタマイズ導入することで構築期間や費用をさらに抑えることができます。
・「IF-見通す経営」を管理の中核に置くことで、他サブシステムに分散していた管理機能を統合することができます。
・サビエンスをベースとすることで、開発期間やコスト押さえ、特に保守の工数を著しく抑えることができます。
・変化の激しい時代、経営のニーズに常に迅速に対応できる柔軟な基幹システムを構築・運用できます。

既存システム・他社パッケージと連動

＜メリット＞
・既存基幹システムや既存他社パッケージを併存できるので、短期間で構築できます。
＜考慮点＞
・仕訳インターフェース部分の修正が必要になります。
・見通す経営は、リアルタイムに受注、発注などの仕訳が発生することを前提にしています。
既存システムがバッチ処理システムの場合は、見通す経営もそのサイクルに合わせられます。
・既存システムが、他社パッケージの場合、当該パッケージがDBを公開している場合には、DB経由で仕訳連動が可能です。パッケージ・ベンダーにご確認ください。
・既存会計システムと並行して稼働させることもできます。
・財務会計システムについては、既存システムを残しても、「見通す経営」の「IF-財務般会計」に置き換えても、どちらの運用形態でも可能です。

クラウドに導入

・グループ会社のクラウド・サービス・メニューとしてご採用いただけます。
・各社独立したシステムを構築できますから、セキュリティの確保はもちろん、各社で、業種が異なり会計処理が異なっても他社のシステムに影響を受けません。
・各社で決算期や勘定科目が異なっても問題ありません。
・クラウドのサーバーのサービス・メニューとしてご採用いただけます。



サポート

- ・経験の深いコンサルタントが導入計画から設計・開発・運用までご支援いたします。
- ・Innovation Familyの必要モジュールを導入いただけます。
- ・「IF-見通す経営」関連の自動仕訳、将来仕訳機能は、御社のご要望に合わせて弊社にて作成させていただきます。
- ・業務システムの再構築に関しましては、御社のご意向に合わせてご支援させていただきます。
- ・具体的な導入期間、費用につきましては、ご要望をお聞きし、別途お見積りいたします。

御社の実務にジャストフィットのシステムを短期間に実現いたします。

業務に精通したコンサルタントが、伺います。
お問い合わせ・ご相談等ございましたら
お気軽に右記までご連絡ください。



株式会社 東條経営科学研究所

Tel: 03-3708-7836 Fax: 03-3708-7835
URL: <http://www.tojolab.com/>

動作環境

Sapiens をベースとした開発が前提となります。Sapiensはマルチプラットフォーム対応で、大型汎用機からオープン系サーバに至るまでお客様の環境や用途に最適なプラットフォームをご利用いただけます。
以下は、Windowsの場合の環境の一例です)

Sapiens eMerge for Windows	
CPU	Intel v64 CPU (Quad Core 2GHz以上を推奨)
メモリー	4GB以上を推奨 ※搭載メモリーについては、お客様の機体要件を踏まえた上で弊社までご相談下さい。
ディスクスペース	アプリケーションサーバ Sapiens eMerge/ソフトウェアに200MB (その他、Sapiens eMergeがデータベースにアクセスする際に必要となるI/Oモジュールを格納するスペースが必要となります。)
OS	Windows Server 2008 SP1(x64) or Windows Server 2008 R2
コミュニケーション	LAN/7タブタ (ハードウェア) TCP/IPプロトコル
メディア	DVD
コンパイラ	Visual Studio 2008 Ver.9 SP1 ※開発環境では、I/Oモジュール作成のために必要となります。
その他	採用されるデータベースに応じてアプリケーションサーバ側に下記クライアントソフトの導入が必要となります。 Oracleを採用される場合 Oracle Client 11g for Microsoft Windows v64 SQL Serverを採用される場合 SQL Server 2008 Native Client

DBサーバ	
CPU	Intel v64 CPU (Quad Core 2GHz以上を推奨)
メモリー	4GB以上を推奨 ※搭載メモリーについては、お客様の機体要件を踏まえた上で弊社までご相談下さい。
ディスクスペース	Sapiens eMergeスタックデータベースとインシリアルログデータベースに500MBが必要
Sapiens eMerge Windows版でのデータベースは以下どちらかをご利用下さい。	
Oracle Database ※1	Oracle Database 10g, 11g (Enterprise Edition, Standard Edition, Standard Edition One)
Microsoft SQL Server	Microsoft SQL Server 2008 (x64) Express Edition 以上
備考	※1 Oracle Databaseの設定 データベース・キャタログ・セクト : JAI6SJUS 各国語キャタログ・セクト : ALJOUTP6 フォント言語 : JAPANESE デフォルトの日付書式 : JAPAN

Sapiens i.way	
CPU	Dual Core 3GHz or Quad Core 2GHz以上を推奨
メモリー	6GB
HDD空き領域	2GB以上
解像度	1024 × 768以上
カラー	65,536色以上
OS	・Windows Server 2008 (x64) 日本語版 ※1 ※1.但し、i.wayはWOV64で動作します。
Webブラウザ	・Internet Explorer 6 SP2以上 ・Internet Explorer 7 ・Internet Explorer 8 ・Internet Explorer 9
Webサーバソフトウェア	・Windows Server 2008は、Microsoft IIS Version 7.0 (IIS 6.0 互換モード)